

新しい函館のためのいかロボットの開発と運用プロジェクト（企画・運営班）

渡邊 太也 服部 晟 菊池 雅和 須原 佳祐

概要

イカボの知名度を上げ、且つ、函館の活性化に繋がるイベントの企画に携わっている。

後期の活動と成果

クラウドファンディング

私たちはイカボ 11号機を製作する上でパーツの外注資金不足により、前期から資金集めを行っていた。最終的にクラウドファンディングの支援金額は432,000円と目標金額の3,000,000円に到達することができなかった。しかし、資金集めの広報を見た函館在住の方の支援の申し出により、イカボ 11号機は製作に取りかかることができるようになった。



合同企業説明会とオープンキャンパス in 札幌

9月18日、9月19日に札幌で行われた合同企業説明会とオープンキャンパスに参加した。多くの企業が集まる合同企業説明会ではイカボ 1号機の製作をする上で重要な安全性について多くの指摘を受けた。これをきっかけに安全性についての課題を発見できた。オープンキャンパスでは多くの高校生にイカボを知ってもらうことができ、未来大学のアピールをすることができた。

イカボ 11号機製作

イカボ 11号機の製作に取り掛かることができるようになったため、企画班も製作活動に参加し、イカボの頭部を製作することになった。現在、企画班で材料と製作方法を検討し、製作に取り掛かっている。



今後の活動

イカボ 11号機製作と新幹線イベントへの参加

今後は継続してイカボ 11号機の製作をする。今年度中に完成させ、新幹線開通イベントに参加してイカボ 11号機を使ったイベントの企画をする。また、イベントでの反応や感想を参考に課題や問題点を見つけ、来年度からのイベントの企画に生かしていけるようにすることを目標にしている。

来年度への引き継ぎ

前期、後期を通して大きな課題である資金不足を克服し、イカボ 1号機の制作ができるような環境を整えた。そして新幹線開通までにイカボ 1号機の完成を目標にしている。来年度のプロジェクト企画班では、今年度中に完成させたイカボ 1号機の使い方と課題を引き継ぎ、課題の解決方法とイカボ 1号機を使用したイベントの企画とイベントへの参加を期待しています。新しいイカボが完成しイカボの活躍の幅が今までよりも広がることが予想されるので、イカボ 1号機を有効に使い、函館を盛り上げ、観光のシンボルとなるよう活動して行ってほしい。